



認知症ケアと 看民工連携への期待

参加費無料

途中入退出自由

定員500名

言語：日本語

日時

2022.3.6 (日)
14:00~16:00

場所

ZOOM ウェビナーによる
オンライン会議室、および
川崎市産業振興会館 3F
「SAKURA LABO」の
パブリックビューイング会場
※お申込み時にご選択ください。

対象

どなたでもご参加いただけます
お気軽にお申込みください

申込み

3.3 (木) までに
iCONM ホームページより
お申込みください



iCONM

検索

問合せ

ナノ医療イノベーションセンター (iCONM)
市民公開講座担当
TEL : 044-589-5700
E-mail :
iconmpubliclecture@kawasaki-net.ne.jp



14:05~
ごあいさつ

片岡 一則

ナノ医療イノベーションセンター センター長
公益財団法人川崎市産業振興財団 副理事長
東京大学 名誉教授



14:15~

脳に薬を届ける技術が起こす
脳疾患治療の新しい夜明け

戸須 眞理子 氏

株式会社プレイゾン・セラピューティクス 取締役会長

現在、世界中で3.2秒に一人、認知症を発症していると言われていています。しかし、脳には効率よく薬を届けることができないため、有効な治療薬の開発がなかなか進んでいません。私たちは脳に薬を届ける研究を全力で進めています。



14:40~

健康問題を抱えても
暮らしやすいまちづくりとは？
例えば認知症になったら

山川 みやえ 先生

大阪大学大学院医学系研究科老年看護学研究室 准教授

病気になっても可能な限り住み慣れた地域でその有する能力に応じ自立した生活を続けることは、心地よい言葉であるが簡単ではありません。しかしみんなで取り組みれば可能になります。そんな実践についてお話します。

15:05~ パネルディスカッション
認知症に優しい社会と看民工連携への期待

● 荒木田 美香子 先生

川崎市立看護短期大学 教授

※五十音順

● 北園 久雄 先生

川崎市立川崎病院認知症疾患医療センター センター長

● 戸須 眞理子 氏

株式会社プレイゾン・セラピューティクス 取締役会長

● 舟田 彰 氏

川崎市立宮前図書館 課長補佐

● 山川 みやえ 先生

大阪大学大学院医学系研究科老年看護学研究室 准教授

主催

後援